

CKD CSRレポート

2017



Contents

会社概要	1
主要事業拠点	2
主要製品紹介	3
トップコミットメント	5
新中期経営計画「Challenge CKD 2018」	7
CKD デザイン改革 マーケティング×デザイン×開発	9
能力を生かす人材開発の実現	11
CKD の CSR	13
組織統治	14
コーポレート・ガバナンス	
リスクマネジメント	
株主様・投資家様とともに	
人権・労働慣行	17
従業員との関わり	
環境	21
環境マネジメント	
地球環境に配慮した商品	
公正な事業慣行	25
コンプライアンス	
お取引先様とともに	
消費者に関する課題	27
お客様とともに	
コミュニティへの参画	29
地域社会とともに	

編集方針

「CSR レポート 2017」は、ステークホルダーの皆様
に、CKD グループの企業活動が経済面、社会面、環境
面において、どのような関わりを持っているのかを
理解していただくために発行しました。

【報告対象組織】

原則として CKD グループ連結対象会社

【報告対象範囲】

2016 年 4 月 1 日～ 2017 年 3 月 31 日を原則とし
ていますが、より詳しい内容を知っていただくため、
それ以前またはそれ以降の取り組みも一部含んでい
ます。

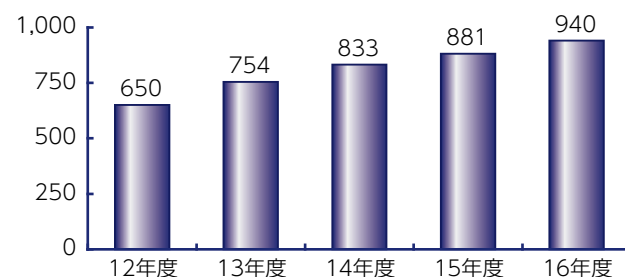
会社概要

1943 年創業以来 70 年以上にわたって自動化技術
や流体制御技術の研究開発に取り組み、多岐にわた
る豊富な商品のラインナップを誇っています。
これらの商品は広く社会に浸透し、豊かな社会の実
現と、新しい時代の創造に貢献しています。

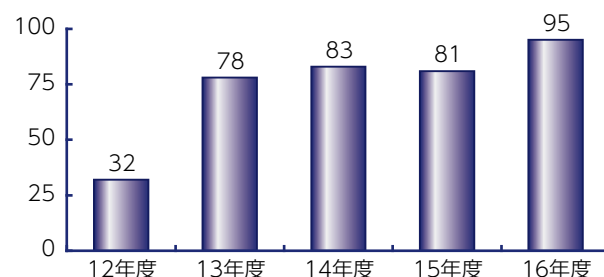
社 名	CKD株式会社
設 立	1943年4月2日
資 本 金	110億16百万円
従 業 員 数	3,719名(17年3月末連結)
売 上 高	940億12百万円(17年3月末)
株 式 上 場	東証、名証1部
事 業 内 容	自動機械装置および省力機器、空気圧制御 機器、駆動機器、空気圧関連機器、ファイン システム機器、流体制御機器など機能機器 の開発・製造・販売・輸出
本 社	〒485-8551 愛知県小牧市応時二丁目250番地 代表電話(0568)77-1111

連結業績推移

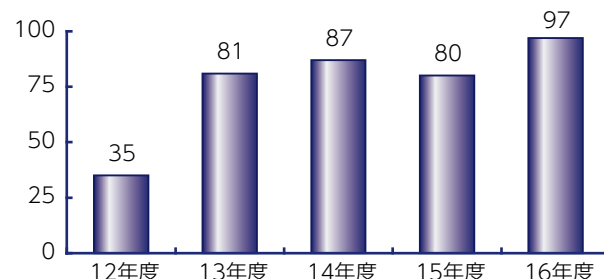
●売上高（億円）



●営業利益（億円）



●経常利益（億円）



主要事業拠点

お客様のもとへ最適な商品とサービスを迅速・確実にお届けするため、国内外にきめ細かなネットワークを構築。世界中でお客様を強力にサポートしています。

EUROPE

- 1 CKD Europe B.V.
オランダ本社
ドイツ事務所
- 2 CKD ヨーロッパ支店
イギリス事務所
チェコ事務所

- 生産拠点
- 販売拠点

ASIA

中華人民共和国

- 1 喜開理(中国)有限公司
工場 1カ所
- 3 喜開理(上海)機器有限公司
事務所 28カ所
上海・上海浦西・上海浦東・寧波
杭州・無錫・蘇州・昆山・南京
広州・東莞・厦門・烟台・重慶
西安・成都・武漢・長沙・鄭州
北京・天津・長春・大連・瀋陽
青島・済南・深圳西・深圳東

大韓民国

- 2 CKD KOREA CORPORATION
工場 1カ所
事務所 4カ所
ソウル・水原・天安・蔚山
- 4

台湾

- 5 台湾喜開理股份有限公司
事務所 4カ所
台北・新竹・台南・台中

マレーシア

- 3 M-CKD PRECISION SDN. BHD.
工場 1カ所
事務所 3カ所
シャーラム・ジョホールバル
ペナン
- 6

タイ

- 4 CKD THAI CORPORATION LTD.
工場 1カ所
事務所 9カ所
バンコク・ラヨーン・ナナコン
アマタナコン・イースタンシーボード
コラート・ランブーン・プラチンプリ
サラブリ
- 7

シンガポール

- 8 CKD SINGAPORE PTE. LTD.
- 9 CKD アジア・パシフィック支店

ベトナム

- 10 CKD VIETNAM ENGINEERING Co.,LTD.
事務所 1カ所
ハノイ

インドネシア

- 5 PT CKD MANUFACTURING INDONESIA
工場 1カ所
- 11 PT. CKD TRADING INDONESIA
事務所 2カ所
ジャカルタ・スラバヤ

インド

- 12 CKD INDIA PTE. LTD.
事務所 2カ所
グルガオン・パンガロール

NORTH AMERICA

アメリカ

- 13 CKD USA CORPORATION
事務所 5カ所
シカゴ・シンシナティ・サンノゼ
サンアントニオ・デトロイト

メキシコ

- 14 CKD MEXICO, S. de R.L. de C.V.
事務所 1カ所
ケレタロ

JAPAN

本社・小牧工場

自動機械・FA 事業のメイン工場



春日井工場

半導体製造装置向け機器などの
流体制御機器の生産工場



四日市工場

国内外のニーズに対応する
空気圧機器のメイン工場



犬山工場

高機能・高性能をめざす
空気圧シリンダのメイン工場



東京支店

- 自動機械東京営業部
- 東部営業部
仙台営業所・宇都宮営業所・北上営業所
山形営業所・太田営業所・郡山出張所
- 東京営業部
東京営業所・立川営業所・茨城営業所
千葉営業所・さいたま営業所
長岡営業所・札幌出張所
- 南関東営業部
横浜営業所・厚木営業所・甲府営業所

名古屋支店

- 自動機械名古屋営業部
- 名古屋営業部
名古屋営業所・小牧営業所・松本営業所
富山営業所・金沢営業所・四日市営業所
- 東海営業部
豊田営業所・三河営業所・浜松営業所
静岡営業所

大阪支店

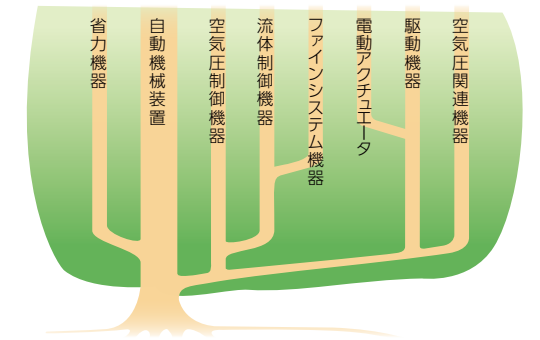
- 自動機械大阪営業部
- 大阪営業部
大阪営業所・大阪東営業所・滋賀営業所
京都営業所・奈良営業所・神戸営業所
- 西部営業部
広島営業所・岡山営業所・山口営業所
高松営業所・松山営業所・福岡営業所
北九州営業所・熊本営業所

関連会社

CKD グローバルサービス株式会社
CKD フィールドエンジニアリング株式会社
CKD シコク精工株式会社
CKD 日機電装株式会社

主要製品紹介

自動車・家電・半導体など、あらゆる産業分野の自動化に貢献する製造メーカーです。その独自の最先端技術は、国内のみならず世界のモノづくりの現場で高い評価をいただき、多くの技術分野で豊富な実績を有しています。主要な製品は大きく2つに分かれています。



機器

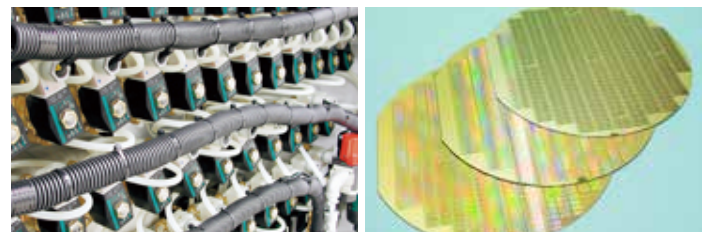
さまざまな機械の中や、工場の生産ラインに組み込まれる製品や、生活を便利に快適にするための製品

物を動かしたり、つかんだり、組み立てたりするための製品とそれを動作させるための製品



例えば、車を作る工場。自動車は、一台一台人間が手作業で作っているわけではありません。自動車を作るために、使われている産業用機械装置や産業用機器としてCKDの製品が使われています。

水・空気・ガス・蒸気・油など流したり止めたり、必要な量に調整や、必要な量を測るための製品



例えば、洗車機。ボタンを押すと一定量の水が出てきて洗車を始めます。その水を出したり・止めたりしているのもCKDの製品が使われています。

製品の動力として、空気（圧縮空気）の力を利用するもの



空気圧制御機器
空気圧バルブ
駆動機器
空気圧シリンダ
空気圧関連機器
FRL
ドライヤなど

製品の動力として、電気を利用するもの



省力機器
ダイレクトドライブモータ
インデックスユニット
駆動機器
パワフルアーム
電動アクチュエータ

使用できる流体は、水・温水・乾燥空気・蒸気・油・灯油・真空・クーラント液・薬液・燃焼ガスなど



流体制御機器
流体制御バルブ
薬液用バルブ

流体制御機器の中でも、半導体・液晶などの製造工程で使用する製品



ファインシステム機器
プロセスガス用バルブ
薬液用バルブ
高真空機器

自動機械

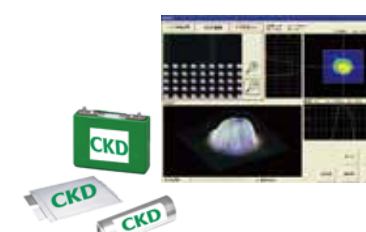
自動で組立や包装をする機械と、その機械に組み込まれる装置

食品や医薬品を包装する機械



例えば、病院で処方される錠剤など。1錠1錠をポケットのような樹脂フィルムに入れて包装するのもCKDの機械です。

リチウムイオン電池の製造やプリント基板のはんだを検査する機械



例えば、スマートフォンや携帯電話の電池パック。この電池パックを作るための機械もCKD製品です。

蛍光灯、自動車球などの照明を作る機械



例えば、部屋を照らす蛍光灯、車のヘッドライトなど。身近で見られる照明機器をはじめ、産業分野で使用される電子管の製造もCKDの機械です。

錠剤の他にも、注射器などの医療機器の包装や、ゼリーなどの食品の包装をする機械



包装機械
薬品用包装機
医療用包装機
食品用包装機

リチウムイオン電池の核となる素子を製造する機械や、プリント基板のクリームはんだの検査をする機械



産業機械
リチウムイオン電池用巻回機
三次元はんだ印刷検査機

各種電球、蛍光灯、自動車球などのランプ製造の他に、その技術を応用した電子管を製造する機械



照明機械
ランプ製造装置

トップコミットメント

はじめに、今年 7 月に発生した九州北部の豪雨により被災されました方々にはお見舞い申し上げますと共に、被災地の復旧を心よりお祈りいたします。

私たち CKD は大きな変化を遂げている市場環境に対応するため、2016 年度に 10 年 VISION を策定しました。10 年先を見据えたうえで流体制御と自動化のパイオニアとして「世界の FA トータルサプライヤー」を目標に定め、企業の成長と共に事業を通じ、さらなる社会貢献と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

【Challenge CKD 2018】

10 年 VISION をベースに、世の中の変化を素早くつかみ、それに対応して大きなビジネスチャンスに繋げていくため、3 つの基本方針を掲げた第 3 次中期経営計画 Challenge CKD 2018 をスタートさせました。

- ① 新しい事業と新しい市場に挑戦
- ② 国内 No.1 商品をグローバル No.1 に進化
- ③ 事業基盤の拡大

1 年目の 2016 年度は、欧州やインドなど海外販売体制の強化、新基幹システム SAP の導入、IoT 対応の製品拡充などを実施し、目標の達成に向け着実に前進しています。2 年目となる 2017 年度は、さらに高い目標に向かって果敢に挑戦を続け、その結果生み出される新しい価値を世界に示していきます。

【ダイバーシティ推進への取り組み】

2008 年から実施している女性活躍推進の取り組みの一環として、2018 年に小牧工場の敷地内に託児所を開設いたします。女性社員がこれまで以上に力を発揮できるような仕組みやルールを改善しています。また当社は生涯現役

制度を 2012 年に導入するとともに、シニア社員が持つ高いレベルの知識や技能を若手社員に伝承する仕組みとして技能研修道場を 2016 年より開始いたしました。これらはシニア社員がさらに活躍できる場を広げることに繋がっています。ビジネスのグローバル化に合わせ外国籍社員も積極的に採用しており、多様な人材が能力を十分に発揮できるよう、環境の整備に取り組んでいます。このような活動が企業価値の向上につながると考え、今後もダイバーシティの推進に取り組んでまいります。

【社会貢献活動について】

当社は社会貢献の基本方針を「良き企業市民として社会とのかかわりを大切にし、社会貢献活動を推進し、豊かな社会づくりに貢献します。」と定めています。

その基本方針に基づき、次世代育成のための小学生を対象にした「理科教室の開催」、環境保全活動として社員とその家族による「森づくり活動」「地域の清掃活動」などに取り組んでいます。

発生から 6 年が経過した東日本大震災に対しては、被災した子どもの教育支援や海岸林再生に取り組む団体への支援を継続しています。また、2019 年には宮城県に新工場を建設いたします。被災地の復興支援のために、いつか東北に工場をとの思いがあり、ようやくその思いを実現させます。10 年 VISION の達成とさらなる成長とともに、地域の発展に貢献できるよう努めてまいります。

これからも社業を通じ、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



2017 年 8 月

代表取締役社長

梶本一典

第3次中期経営計画 「Challenge CKD 2018」

2016年度から、10年先を見据えた10年VISIONを掲げ、その実現のために必要な課題に取り組むための3カ年計画として、第3次中期経営計画「Challenge CKD 2018」をスタートしました。

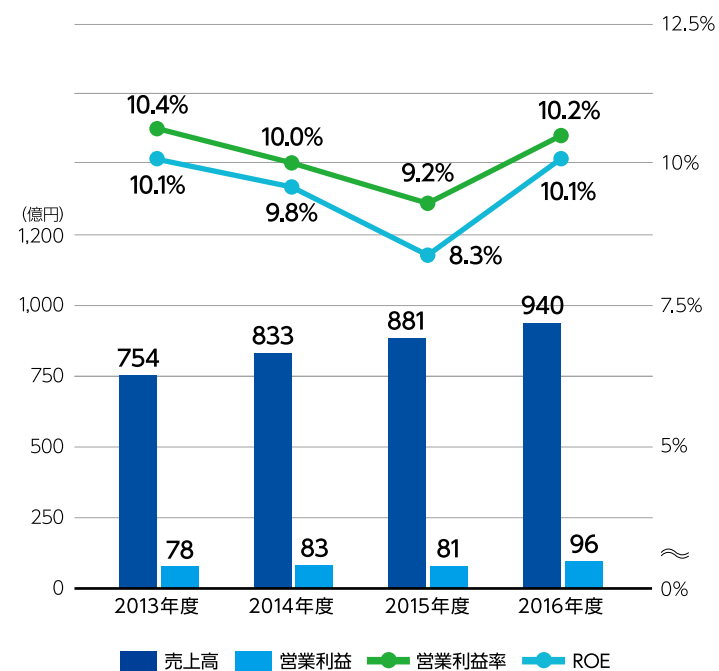
新しい事業と 新しい市場に挑戦

国内No.1商品を グローバルNo.1に進化

事業基盤の拡大

	2016年度実績	2018年度目標
売上高	940億	1,000億
営業利益	96億	100億
営業利益率	10.2%	10.0%
ROE	10.1%	9.0%以上

業績結果



2 国内No.1商品を グローバルNo.1に進化

半導体向け流体制御商品をグローバルに展開

北米にテクニカルセンターを、欧州に現地法人 CKD Europe B.V. を開設し、海外への半導体向け流体制御商品の販売強化を図る



中速型薬品包装機を発売

海外で多く使用されている両面アルミ包装を標準化し、安心安全な操作性など機能を向上した毎分3000錠対応のFBP-320Eを発売



10年VISION

GO CKD!
世界のFAトータル
サプライヤー

3 事業基盤の拡大

日機電装株式会社との 事業統合

ダイレクトドライブモータの分野において優れた技術力を持つ日機電装株式会社が当社のグループ会社へ。両社の技術の融合により提案力強化と新しい分野の市場創造を目指す



海外販売体制の強化

インド現地法人CKD India Private Limited 業務開始
欧州現地法人CKD Europe B.V. 業務開始
イタリア Epsitec S.R.Lへ出資

新基幹システムSAPの導入

財務会計の運用開始(2017年4月)

東北地方に国内新工場 の建設

空気圧機器や流体制御機器などの生産拡大およびBCP強化のため、宮城県に新工場を建設(2019年2月竣工予定)



1 新しい事業と新しい市場に挑戦

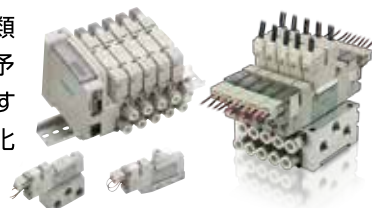
食品用包装機 アジア市場への販売強化

アジア市場に向けてグローバルモデルCFF-300Gを発売し、ニーズに応じた製品で販売を強化



IoTに対応する機器商品を拡充

通信機能やセンサー類を強化するとともに予防保全用商品を開発するなど、商品の高度化にも対応



CKDデザイン改革 マーケティング×デザイン×開発

CKDのデザインの歴史は長く、1980年代には国内外のデザイン賞を数多く受賞した実績があり、工業製品としての美しさ、お客様への付加価値などをご提案してきました。昨年からデザイン思考を導入し、デザイン講習会や工業デザイナーとのコラボレーションなど、クリエイティブ活動へ積極的に取り組んでいます。

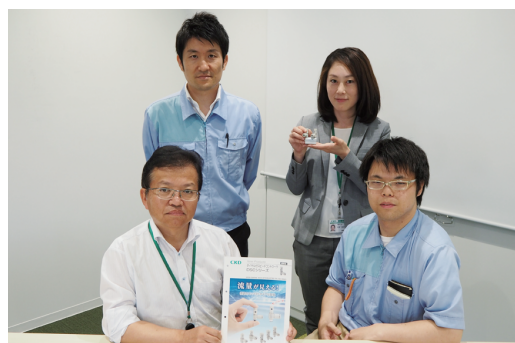
コンパクトと使いやすさの両立

コンパクトダイヤル付き スピードコントローラ DSC-C



GOOD DESIGN
AWARD 2016

極限まで小さく開発された本体は、小形シリンダに取り付けることができ、ダイヤル付きとしては市場で唯一のスピードコントローラです。小さくなることは良いことでしたが問題点もあり、デザイン思考を導入することで問題点を新しい切り口に変えました。例えば、ダイヤル表示は作業者がしっかり確認できるフォントやサイズを採用。小さくても握りやすいグリップ形状は設計者と話し合い、滑りにくい溝を形成。また、ダイヤルに合わせやすい目印形状など、営業・設計との活発な話し合いと、モデル試作・検証を重ねデザインしました。さらに業界初となるカチッと指先にダイヤル位置をフィードバックするクリック機能を付けることで、設備内部の薄暗い環境や、ダイヤル表示が指で隠れる場合でも、ダイヤル値が分かります。理想のイメージを技術者が考え抜いて、実現した結果です。問題解決が評価されGOOD DESIGN賞受賞にもつながりました。



上段左から
デザイナー 福田 敦史
マーケティング担当 大西 志保
下段左から
マーケティング担当 大野 正幸
開発者 古居 聖浩

製品概要

スピードコントローラは、シリンダ等のアクチュエータへ送られる圧縮空気の流量を制御することで動作速度を調整する機器です。流量調整は難しく、作業者の習熟度によってバラつきが出てしまいましたが、ダイヤル表示付きのスピードコントローラは誰でも簡単に調整ができます。

「女性オペレータに使いやすくしたい！」

薬品包装機 FBP-320E

薬品包装の現場で圧倒的に多い女性オペレータにとって「使いやすい機械」をコンセプトに考えた新しい薬品包装機械です。機械の高さを従来機から250mm低くし、それに伴い操作パネルやスイッチ類の高さ、錠剤充填テーブルの高さなど人間工学を基に見直すことで、品種切替時の重量部品の

分解や機械天井の清掃も女性オペレータが無理なく作業ができます。さらに操作パネルを大幅にリニューアルし、作業経験の少ない不慣れなオペレータにも配慮した操作性と、生産状況を素早く確認できる画面の配置にしました。

製品概要

薬品包装機は1錠ずつ錠剤やカプセルを包装し、シート状にカットする機械です。品質を保証するためのインライン自動検査システムを搭載し、異物混入や錠剤の欠けなど不良品の出荷を未然に防ぎます。FBP-320Eは1分間に3,000錠を包装する機械です。



みんなでアイデアを考える

シェア70%で長い歴史があるCKDの薬品包装機。お客様から求められる要求を満たしつつ、「今までとは違うデザインで機械を開発したい。」というのが営業・設計・デザイナーが目指した最初の目標です。新しいデザインの開発はぶつかり合いの連続です。まず始めたのが現場訪問。何度もお客様を訪問し、モニタリングとヒヤリングを重ねました。この現場訪問は一つのコンセプトを生み出し、新しい切り口をもたらしてくれました。「包装機に顔を作ろう。」と、デザインが不十分だった機械側面を見直し、美しさと使いやすさを両立させ



上段左から
開発者 小俣 浩平
八木 崇典
田代 大輔
下段左から
開発者 瀬井 将興
デザイナー 福田 敦史

ました。「薬塵が溜まりやすいネジを無くした設計。」「作業動線がスムーズで、フィルムも交換しやすい本体の面取り。」「整然としていて美しく、それでいて斬新。」薬品包装機の新しいデザインが創られた瞬間でした。

TOPICS

2016年にDSC-CがGOOD DESIGN賞を受賞し、CKDデザイン改革が着々と進んでいます。これはコンセプトと設計力が評価されたからだと思います。また2017年はハノーバーメッセ(ドイツ)や、インターパック(ドイツ)などの展示会にFBP-320Eをデビューさせ、グローバルCKDの一步を踏み出しています。これからもCKDはマーケティング力、デザイン力、開発力をFUSION(融合)させ、創造的なものづくりで世界のFAトータルサプライヤーを目指して行きます。

能力を生かす 人材開発の実現

経営理念に掲げている「人材重視の企業風土」をもとに、

人種・国籍・年齢・性別などに関係なく、多様な人材一人ひとりの可能性と働きがいを大切にしています。

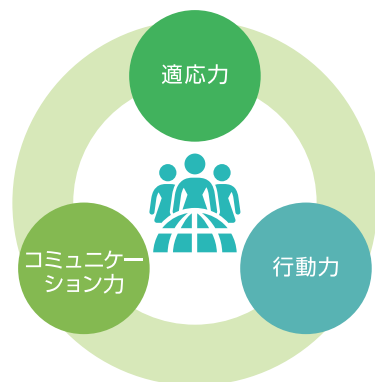
多様な人材がそれぞれの能力を最大限に生かして活躍できるように人材の育成を強化しています。

グローバル人材育成

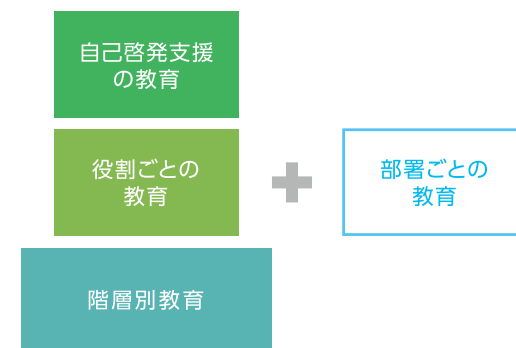
社員一人ひとりの働きがいを大切にし、それぞれの持つ能力を生かすことができる環境を整備するため、さまざまな教育制度を導入しています。

全社員を対象にした階層別教育を基盤に、それぞれの役割に応じた教育や、業務に応じて選択できる自己啓発を支援する教育を実施しています。また部署ごとにおいても、働きやすい環境の整備やスキルアップのための取り組みを実施しています。

社員に求める基本的な能力



教育システム



具体的な教育実施例

階層別教育

全社員が等しく学べる環境を整備し、新入社員教育、OJT教育、管理職教育、リーダー教育など各種教育を計画的に実施しています。しっかりとノウハウを学び、実践につなげていきます。



海外トレーニー制度

日本と海外現地法人との間で互いに社員を研修に送り出し、海外トレーニーを実施しています。グローバル人材を育成し、お互いの仕事の進め方などを理解することで、業務改革につなげています。



技能研修道場

2016年度より、金属加工用の工作機械や測定器などの使い方を学ぶ「技能研修道場」を導入しました。部品加工の部門において、若手社員の技能レベルの向上と、シニア社員が持つ熟練した技能を伝承することで、加工における技能レベルの更なる向上を目的にしています。



若手社員の技能習熟度向上

部品加工部門へ配属される新入社員を対象に1年間かけて研修を実施します。まずは事故防止のための安全について学び、次に測定器の正しい使い方を習得。その後工作機械を使った加工の実習を行います。加工の基礎をしっかりと習得することで、その後は応用した技術にも適応できる能力を身に着けます。また、加工部門の社員だけでなく、技術部門の社員も研修対象に加えています。加工の基本的な方法やそれぞれの金属の持つ特性などを理解することで、よりよい製品の開発につなげています。

シニア社員の活躍の場の拡大

当社は生涯現役制度を導入しています。シニア社員が生涯に渡りやりがいを持って働き続ける環境を整えています。その一つとして、技能研修道場ではそれぞれが持つ得意な技能を若手社員へ教える講師として活躍しています。若い世代とのコミュニケーションの場ともなり、職場の活性化にもつながっています。

自動機械事業本部主催の「女性イキイキ会」

本社主導の人材教育に加え、各本部や部署ごとに研修やコンテスト、講演会などを開催しています。自動機械事業本部では、女性が活躍できる環境を整備するため、2016年度から「女性イキイキ会」を発足しました。他社との交流会も実施し、職場改善や業務改革を行っています。



社内語学講座

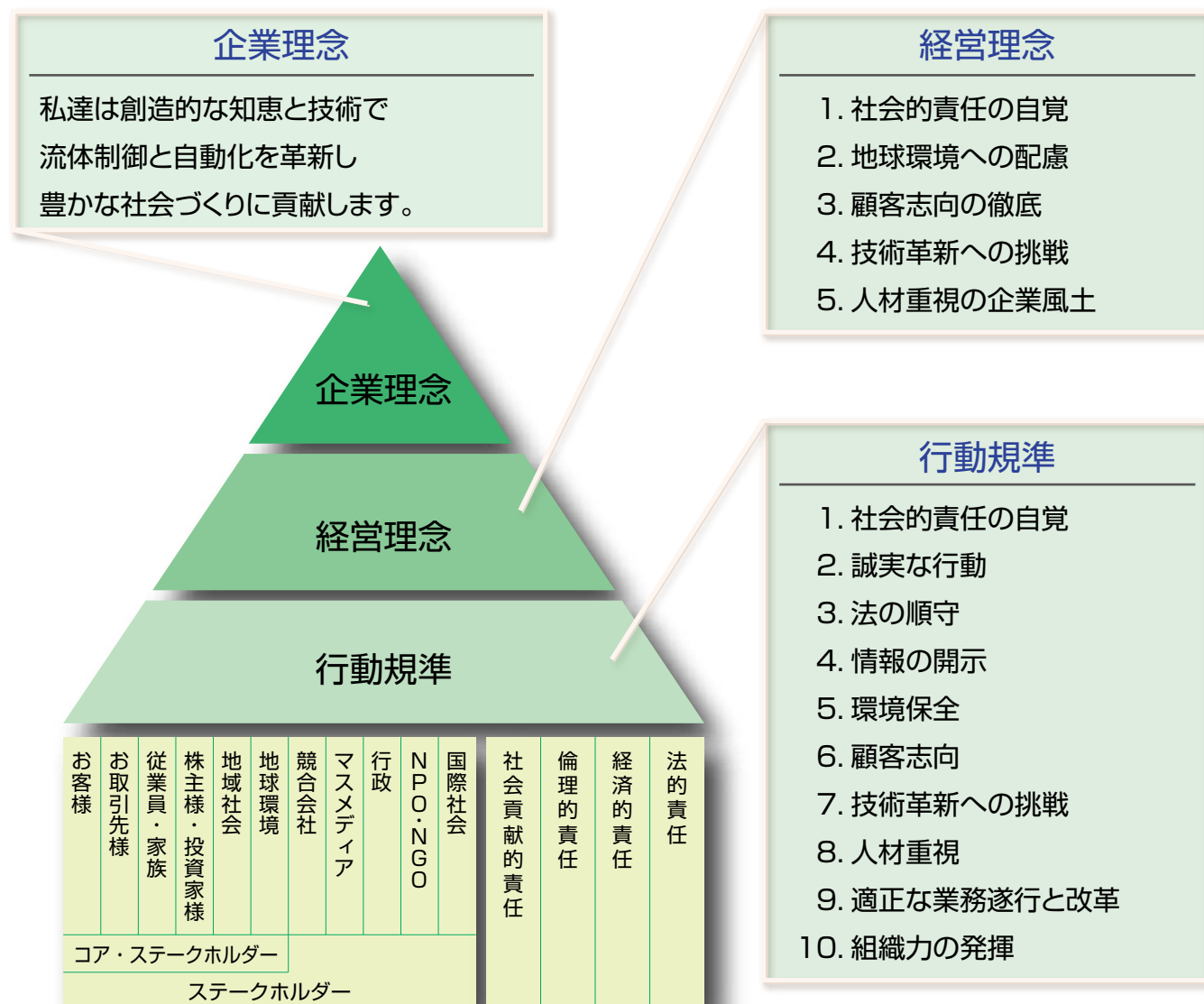
ビジネスのグローバル化にともない必要となる社員の語学習得をサポートするため、各言語の社内講座を開催しています。また語学学習法セミナーの実施や社外講座や通信教育への支援など、社員の自己啓発の機会を設けています。



CKD の CSR

本業を通じて持続可能な社会の実現に貢献していくため、CSR 経営に基づいた企業理念、経営理念を掲げて CSR 活動を推進しています。

企業理念、経営理念、行動規準に基づき、企業としてステークホルダーの皆様に対して果たすべき「法的責任」、「倫理的責任」、「経済的責任」、「社会貢献的責任」を的確に遂行しています。



ステークホルダーの皆様への責任	
お客様	安全・品質を重視し、地球環境に配慮してお客様にご満足いただける商品・サービスを提供します。
お取引先様	公平・公正な取引によりパートナーシップを強め、取引先との相互発展を目指します。
従業員・家族	全ての従業員が生きがいを持ち、健康で安全に働ける職場作りを目指します。
株主様・投資家様	積極的な情報開示と対話に努め、透明性を確保して継続的に利益を還元し続けます。
地域社会	地域社会と共存し、地域の発展に貢献できる企業を目指します。
地球環境	地球環境保全を最重要課題と認識し、事業を通じて省エネ・省資源化を進めます。

- 2005年11月 CSR推進委員会の設置
- 2006年 1月 CSR経営に基づいた新しい企業理念・経営理念の制定
- 2006年 3月 専任部署「CSR推進室」を設置
- 2007年 4月 企業理念・経営理念を実現するための行動規準の制定
- 2012年 4月 行動基準マニュアルの発行
- 2014年 9月 社会貢献の基本方針の制定



コーポレート・ガバナンス

「信頼」「健全」を第一に考えて企業活動を行っています。

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社グループでは、グループ企業に多種多様な利害関係のある株主、取引先、金融機関、地域社会等の皆様（ステークホルダーの皆様）と良好な関係を築き、信頼され続ける企業となるために、健全で効率的な経営を実現し、経営内容の透明性を高めるための仕組みとしてコーポレート・ガバナンスを、一層充実してまいりたいと考えています。

内部統制システム

当社は、内部統制システムの基本方針を定め、当社グループのコーポレート・ガバナンスの充実を図っています。

基本方針

1. 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
6. 監査役がその職務の補助をすべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項、当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項
7. 当社および子会社の取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制、報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
8. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監視機能

当社の監査役会は、社外監査役3名を含む4名の監査役で構成されています。各監査役は、監査役会で策定された監査方針および監査計画に基づき、取締役会をはじめとする重要な会議への出席や、業務および財産の状況調査を通して、取締役の職務執行を監査しており、内部監査部門および会計監査人とは、定期的または必要の都度、情報交換を行うことにより連携を図っています。

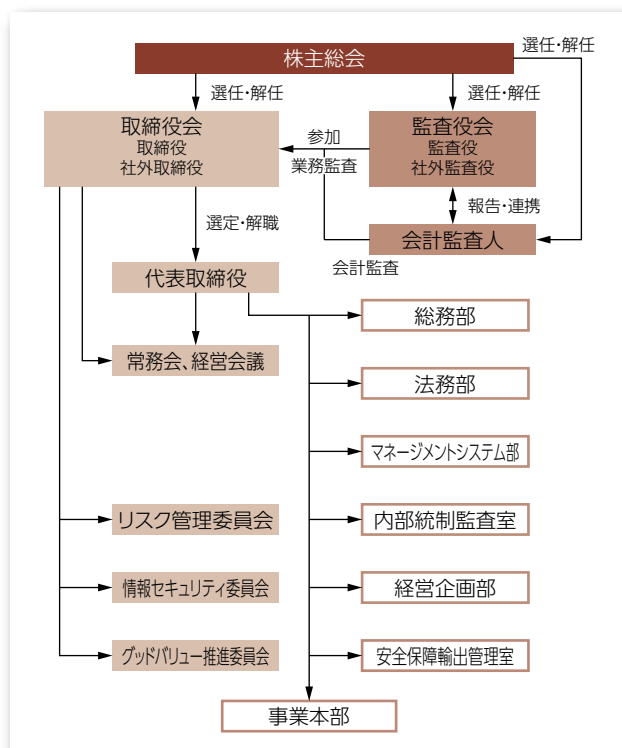
推進体制

当社は、企業価値を継続的に高めていくために、経営の迅速な意思決定が重要な課題の一つであると認識しています。毎月行う取締役会のほか、役員を中心に構成する「常務会」を開催し、急激な経営環境の変化に対応しています。また、経営会議では、取締役および部門長出席のもとで、経営課題の討議、事業環境の分析、業績計画の進捗状況の報告などを通じて、情報を共有し経営判断に反映させています。

経営の透明性・客観性を担保するために、取締役7名のうち3名を社外取締役としています。また取締役の任期を1年として、経営責任を明確化しています。

さらに、コーポレート・ガバナンスを充実させていくために、ステークホルダーの皆様方とのコミュニケーションが重要であると考え、日常のIR活動のほか、ホームページなどを通じて経営、財務情報等の提供を積極的に行っています。

●コーポレート・ガバナンス体制



■ リスクマネジメント

社会から信頼され続ける企業となるため、リスクマネジメントは重要な経営活動の一つだと考えています。

リスクマネジメントの考え方

当社は、事業の継続と企業価値の向上を確保していくために企業活動に付随する様々なリスクを識別し、そのリスクを適正に評価したうえで、効率的かつ効果的な経営活動を行っています。

リスクマネジメント推進体制

リスクマネジメントの推進体制などを定めた「リスク管理規程」を制定するとともに、リスク管理を推進するためリスク管理委員会を取締役会直轄の組織として設置しています。リスク管理委員会は、以下の業務を行っています。

- a) リスクの識別方法、評価方法、対応方法の検討
およびリスク対応方法の決定
- b) リスク対応方法の実行結果の評価およびそれに基づく是正処置の検討
- c) 全社徹底事項の指示、連絡、要請等
- d) リスク管理委員会で決定した事項の監査およびモニタリング
- e) 取締役会または常務会への報告

リスクへの対応

当社は、リスクを5つに大分類して識別し、リスク管理委員会および委員で、リスクの評価、特定、対応方法の決定を行っています。

(識別)

- a) 企業経営を取り巻くリスク
- b) 恣意的攻撃に係わるリスク
- c) 自然災害、偶発的に発生するリスク
- d) 事業戦略における経営上の意思決定に係わるリスク
- e) 事業運営における業務遂行に係わるリスク

(評価)

識別されたリスクについて、発生する可能性と実際に発生した時の影響度を測定する。

(特定)

評価されたリスクについて、重要度と優先度からリスクを特定する。

(対応方法の決定)

- a) 移転… 保険や契約等によりリスクを他へ転嫁する。
- b) 回避… リスク発生に係わる行動および事業活動を止める。
- c) 分散… 損失対象となる経営資源を小単位とする。
- d) 軽減… リスクを軽減させる処置を講ずる。
- e) 受容… 上記の方針をとらず、リスクをそのまま受け入れる。

2016年度は3件のリスクを採り上げ、対応方法の検討をしました。

BCPの策定

大規模な地震・火災・台風等、甚大な被害が発生した場合に備えて、人命の安全を最優先に考え、地域の皆様や取引先様の復旧支援と自社の事業を継続させるためにBCP(事業継続計画)を策定しています。

<主な取り組み>

- ・各種訓練の実施(初動対応訓練、事業復旧訓練、避難訓練、救急訓練、消火訓練など)
- ・備品の準備
(帰宅支援セット、備蓄米、保存水、発電機など)
- ・お取引先様向けBCP策定セミナー開催

情報セキュリティの考え方

情報セキュリティとは、コンピュータや情報の安全性を守り、適切に活用できる状態を指し、機密性、完全性、可用性の3つの要素に分けて捉えることができます。

当社では、技術情報、図面情報など機密情報の情報セキュリティレベル向上に努めているほか、情報資産を効率的に保護するために、セキュリティ対策を導入し、関連要領および作業手順を定めています。

また、情報セキュリティに適用される法令、諸規制およびガイドラインを関連諸要領に明文化し、全従業員への教育・訓練を実施するなど、情報セキュリティ体制を整えています。

■ 株主様・投資家様とともに

積極的な情報開示と対話に努め、透明性を確保します。

情報セキュリティ管理体制

当社は、情報セキュリティ委員会を設置し、情報機器および情報資産、社内ネットワークの情報セキュリティの管理を行っています。また、情報セキュリティに関する内部規程および要領の整備、安全対策の実施、教育訓練を推進し、全従業員への周知徹底を図っています。

I R 情報開示方針

■ I R 基本方針

株主様や投資家様を含むあらゆるステークホルダーに対し、公平かつ適時適切な情報を継続的に開示することを基本とし、I R 活動を通じて、当社の適正な評価と信頼を得ることを目的としています。

■ 情報開示の内容

当社の株式を上場している証券取引所が定める適時開示規則に沿って情報開示を行います。

また、適時開示規則に該当しない事柄であっても、株主様や投資家様の投資判断に影響を及ぼす可能性がある情報については、積極的に開示します。

■ 情報開示の方法

上記情報開示基準に基づき、証券取引所が提供する適時開示情報システム(TDnet)をはじめ、ニュースリリースの配信や当社ホームページの掲載などを通じて、公平かつ迅速に情報が入手できる環境を整備します。

《URL》

<http://www.ckd.co.jp/ir/forinvestors/index.htm>

投資家とのコミュニケーション

個人株主 投資家	株主通信の発行
	株主総会後の製品展示会
	ホームページによるIR情報の発信
機関投資家 証券アナリスト	個別面談
	決算説明会
	IRイベントへの参加
	ホームページによるIR情報の発信

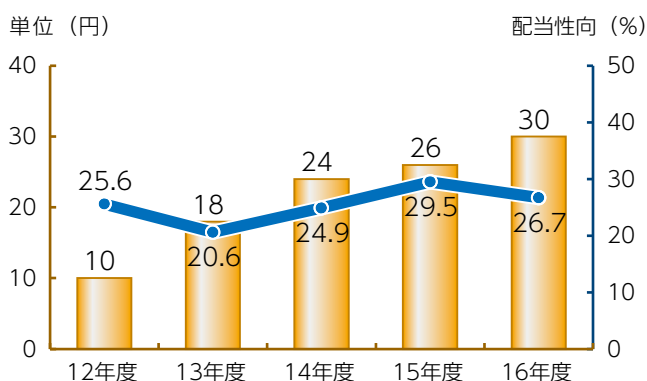
■ 株主総会

株主の皆様と直接コミュニケーションを図る重要な場であると認識し、株主総会の活性化と議決権行使の円滑化に向けて取り組んでいます。

- ・集中日を回避した株主総会の開催
- ・株主総会招集通知の早期発送
- ・映像を利用した分かりやすい株主総会の運営



● 配当金の推移





従業員との関わり

全ての従業員が生きがいを持って働き、健康で安全に働ける職場づくりを目指します。

人材重視の企業風土

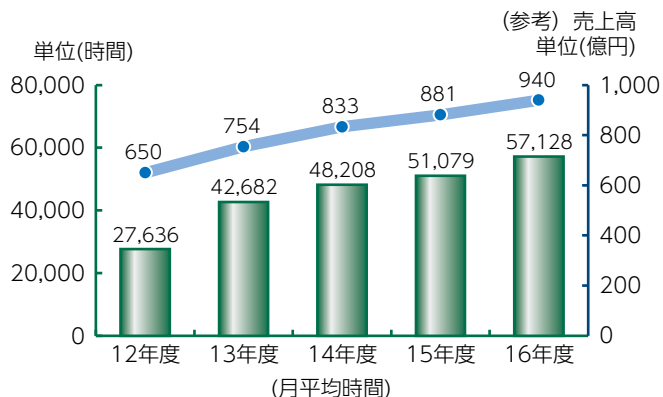
一人ひとりの可能性と働きがいを大切にし、失敗を恐れることなく業務改革に取り組み、組織の強みを最大限に発揮できる企業風土をつくります。

ワークライフバランスの推進

時間管理と業務改善による労働時間の削減

- ・業務改善の実施による時間管理の徹底
- ・週1日の定時退社日の設定
- ・一斉有給休暇取得日の設定
- ・時間単位有給休暇制度の運用

時間外労働時間数の推移



育児支援制度

全従業員を対象に育児休業制度を設けています。また、小学校4年生に進級するまで利用できる短時間勤務制度や時間外労働の免除制度を設けています。女性が安心して妊娠・出産ができ、育児をする男女従業員が家庭生活と会社を両立できるような労働環境を整備しています。

介護支援制度

家族の介護をする従業員が家庭生活と会社を両立できるような環境を整備しています。配偶者、子供、本人の父母と配偶者の父母、同居し、かつ扶養している祖父母、兄弟姉妹、孫を対象に、原則1年間を上限に介護休業を取得できます。

ダイバーシティの推進

性別、国籍、年齢に関係なく多様な人材を活かすダイバーシティを推進していきます。

女性活躍推進の取り組み

2008年2月に女性活躍推進委員会を設置し、ジョブリターン制度の新設、育児支援制度の充実が図られ、ダイバーシティ推進の布石となりました。2011年度より、女性活躍推進についての社長講話とともに女性社員を対象とする「キャリアアップ研修」、上司を対象とする「ダイバーシティ研修」を実施しています。

また2015年度は、役員を含める部門長を対象に、女性活躍の必要性を徹底するための社長講話の実施や「ダイバーシティ研修」を実施しました。今後も更なる意識改革の向上に努めていきます。



従業員が活き活きと安心して働ける環境づくりに取り組み、ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、女性の活躍促進に向け、トップの意識表明や採用拡大、職域拡大、育成、管理職登用のなど、働きながら育児・介護ができる環境づくりの取り組みを行っています。

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた様々な制度と職場環境を持ち、ライフステージに応じた多様で柔軟な働き方を労働者が選択できる取り組みを行う企業として愛知県ファミリーフレンドリー企業に登録されました。



上司や女性への研修の実施や、家庭と仕事の両立を図るための人事制度の充実などを積極的に行なってきた企業に対し、愛知県が認証する制度「あいち女性輝きカンパニー」へ申請し、認証されました。



外国籍社員の積極的な採用

ダイバーシティおよび事業のグローバル化を推進するため、外国籍社員の積極的な採用を実施し、2011年から2016年では外国籍社員数が4.5倍となりました。

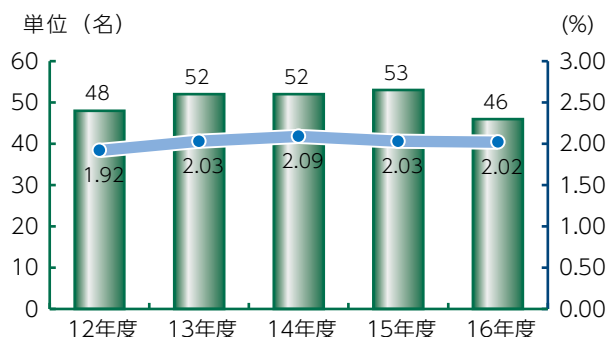
再雇用制度の充実

2012年4月より定年退職者の再雇用制度を拡充しました。60歳定年後の生き方について、社員の選択肢を増やすため、現行のシニア制度は維持しながら、更に年齢制限なく働ける生涯現役制度を設けています。

障がい者の積極的雇用の取り組み

2013年4月から法定雇用率が1.8%→2.0%に引き上げられましたが、法定雇用率を上回る雇用率を維持しています。

障がい者雇用の推移



次世代育成支援

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定し推進しています。

次世代育成支援行動計画

期間：2015年4月1日～2020年3月31日(5年間)

概要：育児休業の取得率向上

会社が契約する託児施設の利用率向上

産休・育児休業取得後に職場復帰した者の

短時間勤務制度の利用率向上

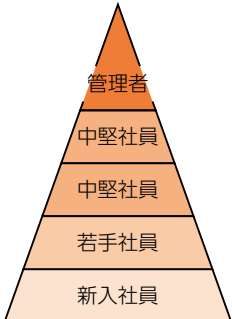
社員・上司の意識改革による所定外労働の削減

人材育成

教育

当社の行動規準は、全従業員が意欲を持って積極的に仕事に取り組むこと、個人の能力を十分に発揮できる環境を整備すること、後継者の育成に努めること、差別のない人間関係および職場環境づくりに努めることを掲げています。

その具体的な取り組みとして、新入社員教育、OJT教育、管理職教育、リーダー教育、現場監督者教育、生産技術教育、技術者教育など各種教育を実施しています。これらは、創造的な社員の育成、激しい環境変化に適応できる能力を持った社員の育成、業務遂行上の知識・技術・技能を身につけ、正しい仕事ができる社員の育成を図ることを目的としています。また、グローバル人材育成にも力を入れて取り組んでいます。

	階層別教育		受講人数
	マネージメント上級研修	18	267
	マネージメント中級研修	21	
	マネージメント初級研修	53	
	コミュニケーションアップ研修	77	
	ロジカルシンキング研修	38	
	ビジネスマナー研修	60	
目的別教育		OJT研修 定年後の生活を考える研修 グローバルリーダー研修	130
自己啓発支援教育		OJT研修 マネージメント基礎研修 プレゼンテーション研修 タイムマネージメント研修	158

■ イノベーションコンテスト

当社の企業理念である「創造的な知恵と技術で流体制御と自動化を革新し、豊かな社会作りに貢献」することを目的に、全従業員を対象に 2008 年度よりイノベーションコンテストを開催しています。

全社的な活動への定着と内容のステップアップを図り、今年度は 2016 年 6 月に本審査を終え受賞者を決定いたしました。

■ 海外トレーニー制度

グローバル化に対応できる若手社員の育成を目的に、海外で 3 ヶ月間の仕事実体験を通じて海外で必要なスキルの自覚を促す「海外トレーニー制度」を設けています。

2017 年度は期間 1 ヶ月の短期トレーニー制度も加え、より多くの社員に海外体験をしていただきます。

また、海外拠点の現地社員を日本の本社や工場に招き入れるトレーニー制度も 2014 年度より始めており、海外現地社員の育成にも力を入れています。



<日本から海外拠点への派遣人数>

	2014年度	2015年度	2016 年度
中国	2	1	2
タイ	1	1	1
シンガポール	1	—	1
オランダ	—	1	—

<海外拠点から日本への派遣人数>

	2014年度	2015年度	2016 年度
タイ	2	1	2
中国	—	3	1
マレーシア	—	1	1
シンガポール	—	—	1

■ 優良社員表彰

個人と職場・チームを対象に、業績・成果に応じた表彰を厳正、公平、タイムリーに実施することで、社員のモチベーションを高め、チャレンジ精神旺盛な企業風土を築くことを目的として、毎月、優良社員表彰を実施しています。品質・業績向上・業務改善・コストダウン・功労など 10 テーマで、1 級～3 級に分けて評価をしています。



安全・衛生管理

安全・衛生管理の強化を図り、従業員の安全と健康の確保に努めています。

労働安全衛生方針

次の基本理念に基づき安全衛生活動に取り組んでいます。

- 1) 安全で健康的な職場作りこそ、人間尊重と生産性を両立させ得る最善策であることを徹底する。
- 2) 全社員一人ひとりが創意と工夫を結集し、災害ゼロを目標に全員参加で安全衛生活動に取り組む。

■ リスクアセスメント

労働災害を未然に防止するため、職場主体で実施している職場安全巡視やヒヤリハット等の対策に加え、機械設備等の危険源を網羅的に抽出し、優先順位を付け計画的に低減していく活動である「リスクアセスメント」の導入を進めており、今後も全社導入に向け計画的に活動を進めていきます。

また、平成 28 年 6 月 1 日から化学物質のリスクアセスメントが義務付けされ、該当する化学物質について適切な管理を行ない職業性疾病を引き起こさないよう取り組んでいます。

具体的な活動

一人ひとりがコンプライアンスの意識を持ち「災害ゼロ」を目標に全員参加で、本質安全化に向け活動しています。

有害業務関係・安全衛生法令の改正情報の入手と全社への展開や職場安全衛生委員会による自職場安全点検の実施、新規雇用者を対象にした労働安全教育などを実施し、常に、災害・疾病の未然防止・労働環境の改善・向上を図っています。

安全衛生委員会の活動

各工場ごとに設置された安全衛生委員会の計画的な活動により、労働安全衛生のさらなる強化に取り組んでいます。

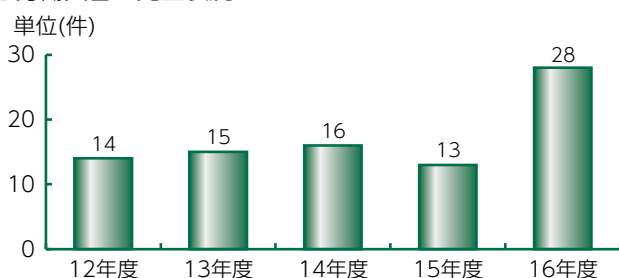
安全衛生教育の取り組み

全社員を対象に入社時安全衛生教育を実施し、安全教育の資料「セーフティハンドブック」をイントラネットに公開しています。

監督者安全衛生教育の実施として、毎年、製造部門のリーダーに対して、職長教育を実施しています。管理監督の役割を担うリーダーに必要な安全についての知識・技能を習得してもらい、正しい作業手順書の作り方や職場の適正配置、効果的な指導・教育を進めるための手法、本質安全化の重要性、危険予知訓練、リスクアセスメント、マネジメントシステムについて教育しています。



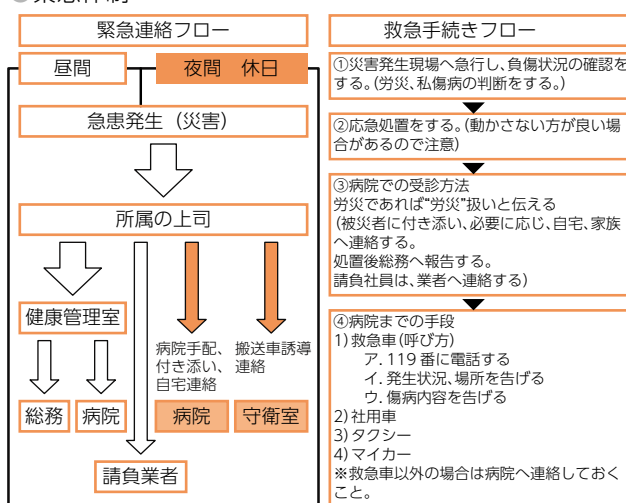
労働災害の発生状況



健康管理体制の充実

全従業員の健康管理のため、定期健康診断、特殊健康診断を実施しているほか、産業医3名、看護師3名が各工場を巡回し、個別相談を実施しています。また、救急体制を整え、緊急連絡フロー、救急手続きフロー、救急指定病院を明確にしています。

緊急体制



国内4工場にAED(自動体外式除細動機)を設置

各工場には、「AED(自動体外式除細動器)」が設置されています。これは、原因不明の「突然な心停止」が発生した場合に、誰でも扱える「心臓に電気ショックを与える救命措置」が施せるものです。AEDは音声ガイドに沿って簡単に手順を進められ、従業員の「いざという時の安心」を設置しています。

メンタルヘルス対策

メンタルヘルス教育の実施

階層別教育の中にメンタルヘルスを盛り込みストレスについて理解し、適切に対処するための知識と方法について教育しています。また、積極的傾聴を体験学習するリスナー研修を実施し、メンタルヘルス不調の未然防止と職場のコミュニケーション活性化に取り組んでいます。

ストレスチェックの実施

定期健康診断とあわせて、ストレスチェックを実施し、メンタルヘルスカを促進するとともに働きやすい職場環境づくりを進め、メンタルヘルス不調の未然防止に努めています。



環境マネジメント

環境関連法規・規制を順守し、環境汚染の予防・CO₂ 排出抑制を図り、環境マネジメント活動に努めます。

美しい環境と共生していくために

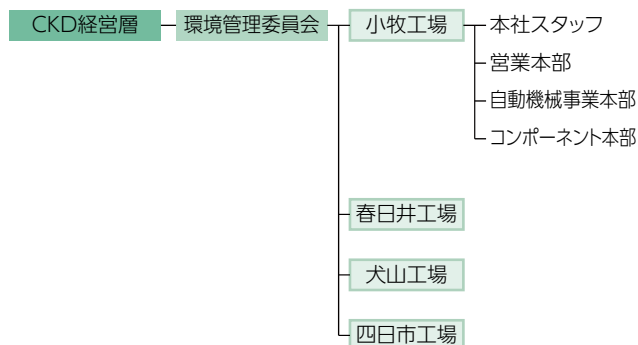
古くは公害問題への対応から、2006 年 7 月に施行された欧州 RoHS 指令をはじめ製品に適用される環境規制への対応まで、全社を挙げて改善活動に取り組んでいます。

また、低炭素社会の実現・生物多様性に帰属した活動は、世界必須な課題として受け止め、美しい環境と共生する事業活動はもちろんのこと、従業員一人ひとりのエコ活動が大きな成果を生み出すと考えています。

ISO14001 に適合した環境マネジメントシステムにより、法律、規制を順守することはもちろんのこと、メーカーとして長年培ってきた自動化技術、流体制御技術を活かした当社らしい環境にやさしい商品を開発し、お客様にお届けすることにより、今後も地球環境の保全に貢献していきます。

環境管理体制

環境負荷の軽減のために、全社を挙げて取り組んでいます。



ISO の取得状況

国内営業部門も含めた全社で ISO14001 の認証を取得しています。

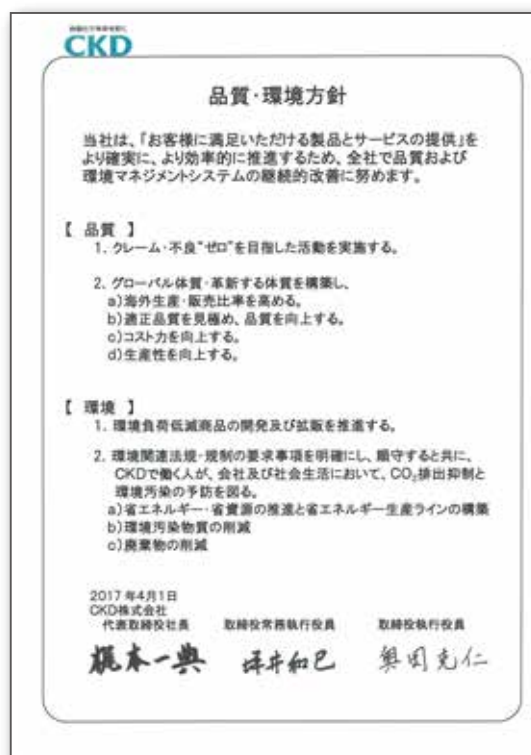
環境汚染物質の削減・廃棄物の削減、省エネルギー・省資源の推進、そして環境にやさしい商品を開発し、地球環境の保全に貢献していきたいと考えています。

取得対象	取得日
国内工場	2000年12月8日
タイ工場	2004年1月14日
中国工場	2009年1月4日

環境方針

当社の活動・製品およびサービスが環境影響に対して適切であり、継続的改善および汚染の予防に関するコミットメントとして、毎年度、環境方針を設定し、当社で働くまたは当社のために働くすべての方々に周知しています。

●環境方針 (2017 年 4 月 1 日改訂版)



EMS に基づく社員の教育訓練

環境マネジメントシステム (EMS) は、全員参加で行っています。定期的に社員の教育訓練や内部環境監査員の養成などを行い、社員の力量向上に努めています。



環境目標と実績

■ 環境負荷低減型商品の開発および拡販

当社基準を満たしたエコ製品の開発および発売



年間の開発・発売件数に目標を設けています。
2016 年度目標達成率は 113% となりました。

環境負荷低減型商品を拡販する



前年度比 10% アップを目標としています。
2016 年度目標達成率は 130% となりました。

環境負荷低減型商品に対する顧客の改善要求情報を
収集し、開発・改良を提案する



営業担当部門に目標件数を設けています。
2016 年度目標達成率は 207% で、目標を達成することができました。

■ 環境汚染物質の削減

REACH 規則に対応する製品含有化学物質データの収集



お客様から含有物質データ提供要求にお応えするため
に、AIS 等のデータ収集を進めています。

■ 省エネ・省資源の推進

インフラ・生産工程を改善し、エネルギー使用量を削減
する



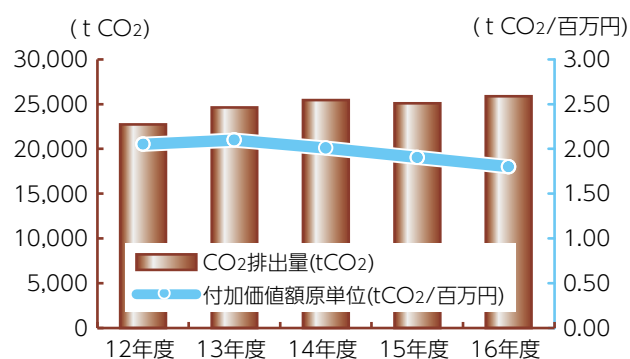
省エネ法削減努力目標の年 1 % (原単位) を目標として
います。
2016 年度は、2010 年度と比較してエネルギー使用量
が 6.3% 増加したものの、原単価では 21% 削減できま
した。
2011 年から 2016 年までの 6 年間で原単位での年平
均削減率 3.5% で目標を達成しています。

地球温暖化防止対策への取り組み

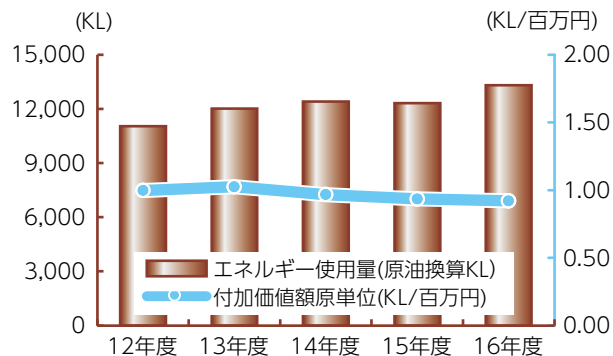
省エネ設備の導入、工程エア消費量削減等の改善活動を
継続的に実施し、温室効果ガス排出量の削減を図っていま
す。

(注) 原単位：付加価値【KL/ 百万円】(2010 年度基準)

● 温室効果ガス排出量 (CO₂) の推移



● エネルギー使用量の推移



環境法規制と順守状況

当社の活動には、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、廃掃
法をはじめ各種環境法が適用されています。

また、罰金や制裁措置などの規制違反や環境影響を及ぼ
す化学物質等の漏出事故はありません。

＜小牧本社工場の土壌・地下水汚染の浄化＞

土壌調査の結果、基準値を上回る有害物質が検出された
ため、2014 年 9 月に行政へ届出および報告し、計画的か
つ継続的に措置を進めています。

汚染土壌の掘削除去	基準超過土壌は2014年10月～11月に掘削除去し、許可施設に搬出処理しました。
汚染地下水の揚水浄化	2015年7月から揚水浄化を開始し、濃度変化を監視しています。

環境保全を目的とした国内4工場の設備投資活動内容を紹介します。投資金額は、主に設備金額を集計し、人件費等は含めておりません。

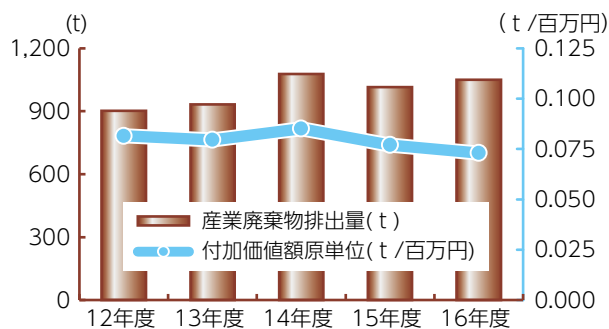
	投資金額	主な内容
2012年度	175百万円	高効率空調設備への更新、 インバータ式エアコンプレッサへの更新
2013年度	120百万円	照明装置の改善、 インバータ式エアコンプレッサへの更新
2014年度	253百万円	エネルギー転換 (重油、LPガス→都市ガス) 高効率空調設備への更新
2015年度	310百万円	高効率空調設備への更新 コージェネレーション導入
2016年度	111百万円	空調設備の運転方法改善 電力制御方法の改善

廃棄物

国内4工場において発生する廃棄物の分別、排出、保管、委託処理を管理し、廃棄物の削減・再資源化に取り組んでいます。

産業廃棄物の推移

2016年度は、2015年度廃棄量と同程度に維持しています。



●PRTR 法対象一指定化学物質の排出状況

(2016 年度)

(t)

届出工場	化学物質名	移動量	排出量		
		廃棄物	大気	水域	土壌
四日市工場	アンチモン	0.48	0	0	0
犬山工場	塩化第二鉄	0	0	0	0

※他の工場では、届出対象となる使用はありません。

環境保全への取り組み

小牧本社工場では、自社商品を使った工場緑化のための再生水の活用を行っています。また水資源の有効利用のため、使用工程を改善し、節水に努めています。

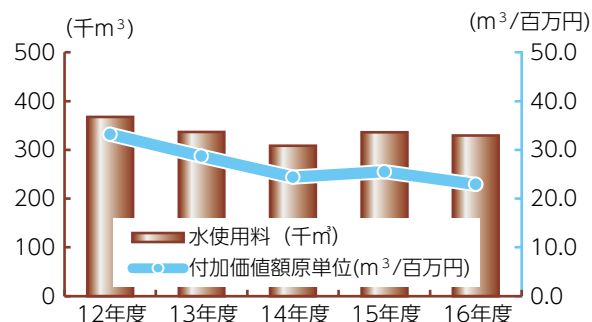


工場緑化対応のポイント

- ①自動散水システムの導入により無人化
- ②雨水を散水に活用
- ③工場排水を散水に利用

特に夏場の芝生への散水は1㎡あたり 1 日5ℓ程度必要とされています。芝生面積 2,000㎡では、1日10㎡(=1000ℓ)の水が必要になるため、その分の上下水道費用の削減を計ることができます。

●水資源の有効利用



地球環境に配慮した商品

地球環境に配慮した商品の提供と企業活動を通じて持続的な環境保護に努めてまいります。

環境負荷低減型商品の開発

当社は、より環境レベルの高い商品を生み出すために、開発企画段階より意識的に環境レベル目標を組み込むことが必要と考え、当社独自の「環境適合評価表」(※1)を用い、エコ商品の開発に取り組んでいます。

※1：環境適合評価表：「顧客環境」と「社内環境」の両面からそれぞれ、「省エネ」「省資源」「廃棄物」「環境汚染」の4つの環境負荷項目について、環境レベルを評価するもの。

【自動機械商品】

環境負荷低減型ブリスターパック
エコブリスタ FBP/CFFシリーズ



成形スクラップ、エア消費量、消費電力の大幅な削減が可能とし、設置スペースの削減にも貢献します。

省エネ

廃棄物削減

環境汚染対策

【機器商品】

パワフルアーム
PFB2シリーズ



“すべては「働く人」のために”を合言葉に、ヒューマンアシスト機器として新しい機構を提案してまいります。

省資源

省スペース

リチウムイオン電池巻回機



リチウムイオン電池の素子を高速・高精度で製造する機械です。銅系材料未使用機器製品を採用しています。

省エネ

省資源

環境汚染対策

ダイヤル付スピードコントローラ
DSC-Cシリーズ



2016年度グッドデザイン賞受賞

流量の可視化により誰でも簡単に操作が可能です。コンパクトにしたことで小形シリンダにも設置が可能です。

省資源

省スペース

3次元はんだ印刷検査機
VP6000-V/VP5200-V



高速・高精度・簡単操作を迫及したインラインタイプのはんだ印刷検査機です。実装ラインの品質向上に貢献します。

省資源

廃棄物削減

環境汚染対策

電動アクチュエータ
KBXシリーズ



標準品のみで、あらゆる搬送シーンに適合した直交搬送システムが構築でき、単軸から4軸まで組み合わせることが可能です。

省エネ

省資源

省スペース



コンプライアンス

社員一人ひとりが日常の中で、高い倫理観を持って誠実に行動するための行動規準を制定しています。

コンプライアンスの考え方

当社は、従業員の職務執行が法令および定款に適合し、かつ社会的責任および企業倫理を果たすため、「社会的責任の自覚」を経営理念の一つとして定め、行動規準を整備し、社内周知徹底を図っています。法令順守の事例として、安全保障輸出管理規程、違法行為通報規程を制定しています。

国内・海外コンプライアンス推進

当社は、企業理念および経営理念に基づいた行動を実践するため、全従業員を対象に行動規準マニュアルを配布しています。国内外の子会社についても、子会社管理規程を定め、業務の適正を確保しています。

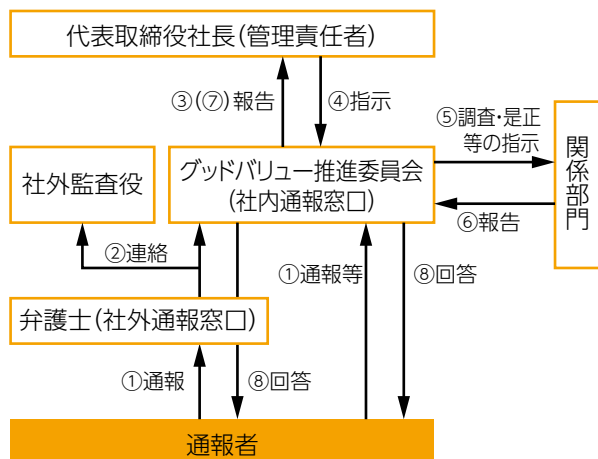
教育・啓発活動

当社は、従業員に対し、役割等級ごとの研修および各部門における教育訓練により、コンプライアンス教育を計画的に実施しています。

内部通報制度

当社は、社内における組織的または個人的な法令違反行為等に関する従業員からの通報を適正に処理する仕組みを定めることにより、法令違反行為等の早期発見と是正を図り、法令順守を徹底しています。

●通報処理体制



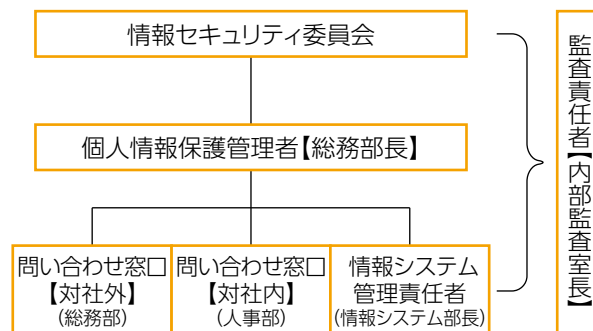
個人情報保護規程

高度情報通信社会の進展に伴って、当社が取得、保有する個人情報につき、保護の重要性を認識し、CKD プライバシーポリシーに基づき、適正な取り扱いを徹底しています。また、CKD プライバシーポリシーは当社ホームページにて公開しています。

《URL》

<http://www.ckd.co.jp/privacy/index.htm>

●組織図



お取引先様とともに

購買活動の理念および基本方針を定め、お取引先様との公平・公正な取引によりパートナーシップを強め、共栄を目指します。

購買理念

健全な経営、確実な品質のお取引先様からの購買を拡大し、相互発展を目指します。

基本方針

1. 顧客ニーズに応えるための改善活動を推進します。
2. パートナーであるお取引先様との信頼関係を大切にします。
3. 関連法規や社会規範を順守します。
4. 国内外を問わず、技術力の高いお取引先様との公平・公正なお取引を目指します。
5. 購買活動を通じて地球環境の保全に貢献します。

グリーン調達の推進

環境方針に基づき、従来の「品質、価格、納期」に加え、「環境」をキーワードとし、調達の段階から環境に配慮したグリーン調達を行っています。お取引先様のご理解を得るために、グリーン調達に関する当社の基本的な考えを以下の内容で策定し、当社の基準よりグリーン調達度の高いお取引先様より優先的に調達しています。

グリーン調達に関する基本的な考え方

- (1) 法規制の順守・化学物質管理
- (2) 環境保全活動の推進
- (3) 省資源・リサイクル
- (4) 廃棄物管理・削減
- (5) 環境情報の提供
- (6) 労働安全衛生

グローバル調達の推進

国内のみならず、中国、タイ、マレーシア、インドネシア、韓国においても生産活動を行っておりグローバルな視点で高品質そして環境に配慮した商品を提供しています。今後ますますアジアのマーケットが拡大する中で、国内外において技術力の高いお取引先様と、積極的な取引を展開していきます。

公平・公正な調達

購買の基本方針に基づき、お取引先様と公平・公正な取引を行っています。

毎年、主要取引先を対象に「方針説明会」を開催し、お取引先様への積極的な情報開示を行っています。また、CKD 評価制度により、客観的な指標に基づいた取引改善を推進すると共に、評価の高いお取引先様への発注の拡大を進めています。

生産動向説明会

2017年4月18日名古屋市内のホテルにて、「2017年度CKD生産動向説明会」を開催しました。海外生産拠点でも大変お世話になっている現地のお取引先様2社を含めた、自動機・機器の主要購買先様88社95名の皆様にお集まりいただきました。

CKDを取り巻く環境と2017年度の社長方針、自動機械とビジネスユニットごとの生産動向等を説明させていただき、購買方針に沿った生産活動をパートナー企業様と共に進めていくことをお願いしました。

社長挨拶では、FAトータルサプライヤーを目指すため、IoT対応の推進、グローバル展開、新たな基盤作りと変革を進めるにあたり、購買先様との融合の必要性についての説明をさせていただきました。

お客様とともに

常に顧客志向の精神と謙虚な心で対応し、安全・品質・環境を重視し、お客様にご満足いただける商品・サービスを提供します。

顧客志向の徹底

経営理念の一つに「顧客志向の徹底」を掲げ、商品およびサービスを適切な価格でタイムリーに提供しています。また、常にお客様の声に耳を傾け、用途や使用方法などを十分検討し、最適な商品を提供しています。

商品情報提供

お客様が合理的に商品およびサービスを選択できるよう、ホームページを更新しています。また、各商品の実物を「見て」「知って」「体感」していただくために、展示会を国内外で積極的に開催しています。本社に併設したショールームでは、各種商品説明や海外拠点生産品を展示しており、多くのお客様に商品情報を提供しています。

●ホームページ



機器商品は、ホームページ上で新商品やカタログ、CADデータ、各種取り扱い説明書、機種選定システムなどを提供するほか、代理店様向け商品情報サービスを通じてよりきめ細かな情報提供を心がけています。技術支援を必要とされるお客様には、相談窓口を設け、サポート体制を整えています。また、全国の営業所が主催する「空気圧システム技術セミナー」により、空気圧機器への理解促進を図っています。

自動機械装置は、個別対応を基本に、カスタマイズを重視した商品提供を行い、アフターフォローの充実から安全・安心を提供しています。

* 機器商品 お客様技術相談窓口 *

フリーアクセス 0120-771060

受付時間 9:00 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00

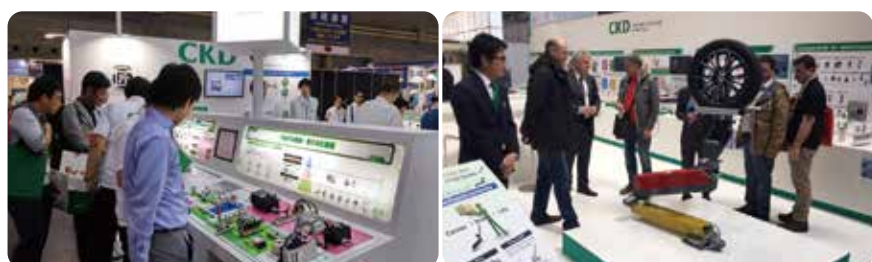
(土日、休日除く)

<http://www.ckd.co.jp/support/network/index.htm>

●ショールーム



●展示会



安全性と品質重視の商品提供

当社の行動規準に、高い品質と安全性を備えた商品を提供することを定めています。

実践するにあたり、品質方針と ISO9001 を柱にした品質マネジメントを構築し、年2回の内部監査とマネジメントレビューで運用状況を評価しています。また、商品開発段階において、品質工学や信頼性手法を取り入れて不具合の予測・予防力の強化を図るなど、持続的な品質向上に取り組んでいます。

毎年11月は品質月間として、海外子会社を含む全従業員が品質宣言を提示し、品質重視の意識を高める取り組みをしています。

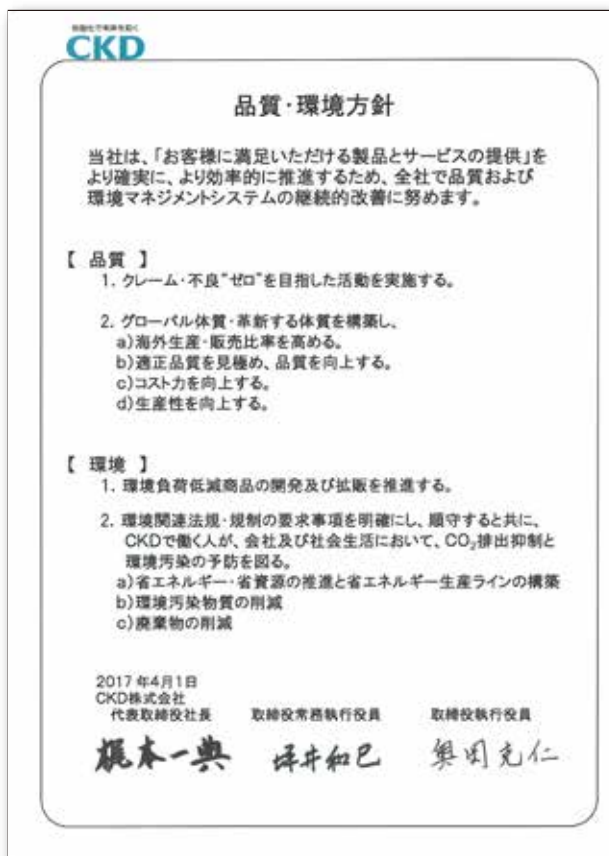
環境保全型商品の拡販

営業活動から得られたお客様の環境負荷低減要求を直接的に反映させる「新製品開発提案」活動を実施しています。

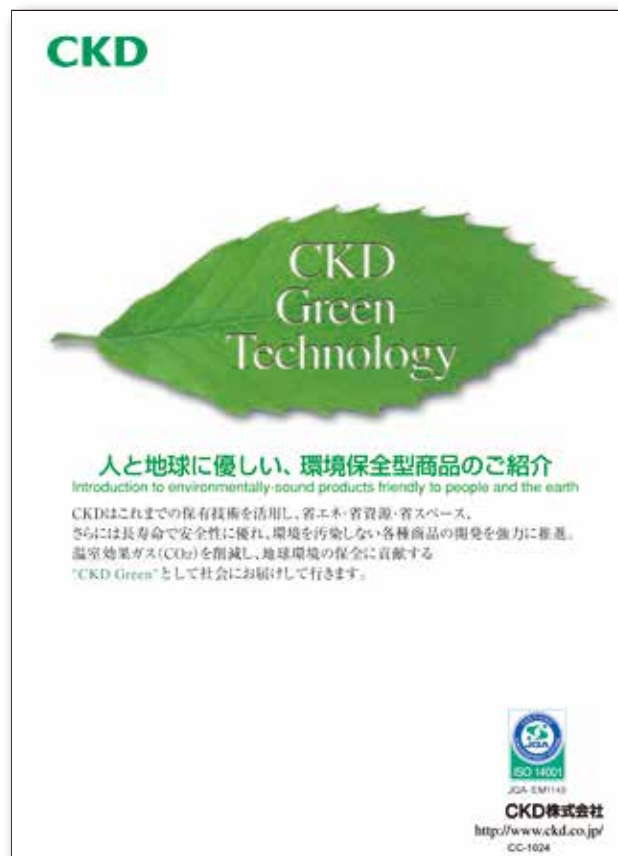
現在の省資源・省エネルギーは世界的な市場要求になってきています。当社では、既存商品の中で、ハイブリット車や電気自動車向けリチウムイオン電池製造関連装置など環境保全商品を手がけています。今後さらに環境保全ビジネスを強化していくため、新たに開発する商品全てにおいて、環境に配慮した商品開発にも力を注ぎ、環境に優しい新商品をご提案しています。

(関連するページ P24「環境に配慮した商品」)

●2017年度品質方針 (2017年4月1日改定版)



●環境保全型商品のパンフレット





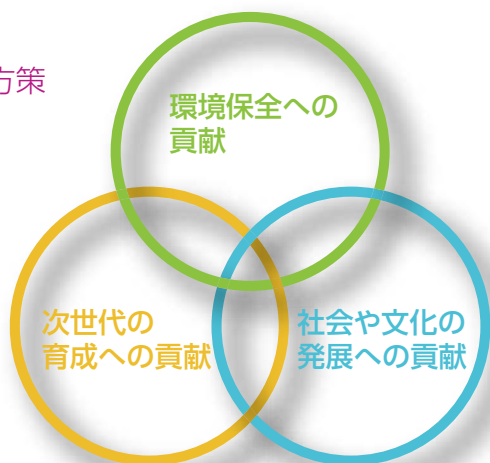
地域社会とともに

地域社会と共存し、社会に貢献できる開かれた企業を目指します。

社会貢献の基本方針

良き企業市民として社会とのかかわりを大切に、社会貢献活動を推進し、豊かな社会づくりに貢献します。(企業理念・経営理念・行動規準に基づく)

方策



地域社会への貢献

「モノづくりから学ぶ理科教室」

地元小牧市の小学生を対象に「モノづくりから学ぶ理科教室」を開催しています。子供たちの理科離れが進んでいる問題解決に向け、理科に関心を持ってもらうため、また未来を担う子どもたちの育成を目的としています。

空気の力で進むホバークラフトの制作を通じて、当社製品の核となる「空気の力」を体験しました。工場では実際に空気の力を利用している製品を見学してもらい、理科への興味関心の向上やCKDがどんな会社かを知ってもらうきっかけとなりました。



「CKDの森づくり活動」

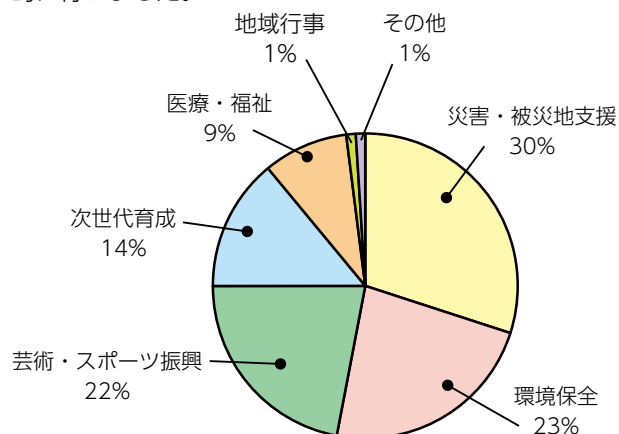
愛知県瀬戸市にある「海上（かいしょ）の森」で、社員とその家族を対象にボランティアを募集し森林保全活動を実施しています。間伐や除伐、見晴らし台周辺の林内整理や遊歩道の保全など、年間を通じて継続的に活動しています。



地域福祉活動

CSR基金

2006年6月より、社会への貢献を目的に、CSR基金の運用を開始しています。2016年度は、東日本大震災で被災した子供への支援や医療福祉団体への寄付などを積極的に行いました。



ボランティア休暇制度の制定

社員の社会貢献活動を支援するため、年間3日あるいは5日以内のボランティア休暇の取得ができます。

福祉活動、災害救援活動・復旧活動、自然環境保護活動など広域にわたり、社員一人ひとりが身近な社会に貢献できる体制を整えています。

大山川クリーンアップ活動

毎年、地域住民と共同で実施する「大山川クリーンアップ（清掃）」。



尾張広域緑道の清掃活動

犬山工場に隣接する尾張広域緑道の清掃活動を毎回約150名の参加者で実施しています。清掃範囲は緑道上の公園・多目的グラウンド等で、毎年夏には地域の盆踊り会場としても利用されています。



エコキャップ・使用済み切手 回収活動

エコキャップと使用済み切手の回収活動を実施しています。

回収したエコキャップを再資源化業者へ売却した売上益を世界中の子どもたちのワクチン接種費用として寄付します。

使用済み切手は、海外医療支援を行う団体に寄付し、コレクターへ売却した売上益が活動資金となります。

「がん検診企業アクション推進パートナー企業」に登録

厚生労働省では、「がん予防・早期発見」を積極的に推進すべく、がん検診受診率の向上に向けて「がん検診受診促進企業連携推進事業」（通称：がん検診企業アクション）を2009年より推進しています。

当社もがん検診の重要性を理解し、2011年10月に「がん検診企業アクション推進パートナー企業」に登録しました。

中国での環境保全活動

海外子会社 CKD 中国では、工場の周辺企業と協力し、地域の道路のゴミ拾いをしながらエコ活動を提唱する環境保全活動に参加しました。



中国工場での環境対応

海外子会社 CKD 中国は、中国で有名な太湖の水質汚染を防ぐため、表面処理排水を再利用、蒸発させ排水を外に出さない排水処理装置を導入し、水質汚染防止に取り組んでいます。

また PM2.5 など深刻な大気汚染問題を受け、汚染の原因となる溶剤塗装を粉体塗装に切り換え、排ガス発生源を無くす活動や、止むを得ず汚染排気が出る場合は、排ガス処理装置導入し、浄化後排出をいたします。

ダイカスト棟では離型剤再利用装置や、気化熱を利用したクーリングファン、LED 照明採用など、省エネと地球環境に優しい取り組みを率先して実施しています。

献血運動への積極的な取り組み

2006 年から社会貢献の一環として、毎年4月に献血活動を実施しています。2015年度は202名が参加しました。

地域との交流

地域のお子さんと一緒に餅つきをおこない、神社に奉納する鏡餅を作成しました。



タイでの環境保全活動

海外子会社 CKD タイでは、Sattahip Naval Base でサンゴ礁の保護活動に参加し、社員がサンゴの植樹を行いました。



「TABLE FOR TWO」を実施

「TABLE FOR TWO」とは、食堂で提供するヘルシーメニューに20円の寄付金を含み、集まった寄付金でアフリカの子供達へ給食を送る活動です。4工場の社員食堂で実施しています。



薬学生実務実習

薬学教育の5年生を対象とした実務実習を実施しています。「PTPシートに対する知識を深める」というテーマで実習を開催し、医薬品用PTP包装機の実機を運転してPTPシートがどのようにして製造されるのかを学んでいただきました。

※ P T P (Press Through Package)
押し出して取り出す包装の意味



こども110番への協力

地域の子どもの交通安全と不審者から守るため、緊急時に駆け込める場所としてこども110番に協力しています。



色覚の個人差を問わず、見やすいよう表示を配慮する
カラーユニバーサルデザインを採用しています。

自動化で未来を拓く

CKD

発行 : 2017年8月
編集 : 経営企画部

CKD株式会社
<http://www.ckd.co.jp/>